



## 教会だより ミルトス

ミルトスは、水がなくても育つ強い木であることから不死のイメージがあり、祝福と繁栄の象徴の木と言われている。

日本バプテスト教会連合  
八千代キリスト教会

牧師 小林政和

八千代市大和田新田 94-77

Tel:047-450-1536・Fax:047-473-3925

Eメール: [gpnng725@gmail.com](mailto:gpnng725@gmail.com)

URL/<https://yachiyokyokai.org>

郵便振替:00190-4-554373

今年のみ言葉「私たちすべてのために」

私たちすべてのために、ご自分の御子さへも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるのでしょうか。(ローマ書8章32節)

どなたでも ご自由にお入り下さい。お待ちしております。  
日曜日・午前10時30分・礼拝  
水曜日・午後1時30分・祈禱会

### 「神は時間を止められる」

牧師 小林 政和

インフルエンザになった。人にうつしてはならないということで、5日間は出歩いてはならないとドクターストップがかかる。祈禱会もお休みにした。関係者にご迷惑をおかけしたが、神からは祈り会中心の5日間の休暇をくださったと感謝してお受けした。

Ⅱ 列王記20章1-11節にヒデキヤは病気になる死を宣告される。彼は顔を壁に向かい「あなたの目になかったことを思い起こして下さい」と必死に泣いて祈った。神はイザヤを通しヒデキヤに「私はあなたの祈りを聞き、あなたの涙を見た。あなたの命を15年加えよう」と言わせた。ヒデキヤはイザヤに「主が私を癒されることに、どんなしるしがあるでしょうか」と聞く。「主が約束されたことは、主からしるしと与えられるでしょう。日影が十度進むか、あるいは十度遅くなるかです」との答。ヒデキヤは「日影が十度進むことはたやすいことです。むしろ日影を十度退かせてください」と申し出る。そこでイザヤが主に呼ばわると、アハズの日時計の上に進んだ日影を十度退かされた。時間を過去に戻すまでに、ヒデキヤと父神との関係が出来ていたのである。

「神は時を止められる。また時を進ませ、または戻されることができる」。私たちが、絶対的に時間が足りなくて「主よ、時間を止めて、間に合わせて下さい」と祈ってみると、すべての人の時間は止まって、自分だけがその間、動き回れると言う恣意的な時間帯がセットされる経験は、皆様の信仰生活においてあったと思える。神は、身勝手な私たちの必死の祈りを聞かれることがある。信仰者がキリストの素晴らしさを知っている度合いに応じて導かれる。神は時間を操作して未来のある時点まで連れて行くことも、過去のある時点まで連れて行くことも、おできになれる。

完全に過去の時間を遡って見せてくれるのは、最後の時、復活の時であろう。私たちのこの世で行ったことがすべて、神の画面に記録(歴史を完全に遡らせるビデオがあると仮定して)されているが、それを再現して見せてくれるかも知れない。その時、家族・知人にもお会いし、「こんな時もありましたね」と、懐かしむことができるかも知れない。



11月11日(火) 1:30~

野崎宅(八千代市)にて家庭集会が行われました。

讃美歌を歌い、  
小林牧師のメッセージを聞き、実りある豊かな時間になりました。



教会の花  
(11/9 撮影)  
(下橋)



11月3~4日(月~火)日本バプテスト教会連合2026年度予算総会

第一号議案:土地建物基金の廃止及び新制度の創設について

第二号議案:「総会運営登録費」の創設について

第三号議案:教職者のサバティカル休暇(長期休暇)支援制度導入について

第四号議案:2026年度基本方針(案)、事業計画(案)

以上、参加教会の代議員から種々の質問・審議がなされ、四議案とも賛成多数で可決された。

11月9日(日)召天者

合同記念礼拝

日曜礼拝に続いて、午後から行いました。あいにくの雨模様、この後のラザロ霊園での墓前礼拝はできませんでした。(下橋)



## メンバー紹介

## 「カナダ旅行記」

吉田照子

9月16日から10月25日迄、カナダで主の守りのなか過ごすことができました。感謝します。

カナダは日本の約27倍の面積、多様性と医療や教育が公的に支えられることが評価され2025年度の移民したい国の1位に選ばれたそうです。

猛暑の日本から10時間ほどで、ひんやりとした空気のカナダ・バンクーバー国際空港に降り立ち、季節が一気に変わったことを感じました。空港から娘の住むラドナー迄車で時速90kmで40分ほどかかります。車でなければスカイトレイン(無人運転電車)とバスを利用します。

9月30日はオレンジシャツデーで、2021年から真実と和解の日としてブリティッシュコロンビア州では公休日になり、多くの人々がオレンジ色の服を着ました(また2月には最終水曜日がピンクシャツデーといってピンクのシャツを着る日があります)。そしてハロウィーンの飾り付けも始まり、店頭には色とりどりのカボチャ畑(パンプキンパッチ)・動物とのふれあい・ワゴンライズなども楽しめるトゥモロコシ畑に作られる迷路に出かけたりします。と同時に大量の小分けされたお菓子が詰まった箱も並びます。ハロウィーンで家を訪ねてくる子供達に配るためです。子供たちは(多くの大人も)様々なコスチュームを纏い、イベント会場やあちこちのかぼちゃ畑に作られる迷路に出かけたりします。植木や花などが販売される農場もあります。今年はハロウィーンの前に帰国したので、あの賑やかで知らない家でもノックしてお菓子を貰うドキドキ感を味わえず少し残念でした。また10月第1週を過ぎると、リメンバンスデーに向けて募金活動が始まります。募金すると渡される赤いポピーの造花は、犠牲と平和のシンボルです。街頭募金活動は11月のリメンバンスデーまで続きます。

カナダのこの時期の行事を頭に入れて孫たちと過ごしました。インド系の人も中国や韓国の人も多い所ですが、異文化の人たちも、それらを上手に取り入れているのを感じました。そして歩いて行くことが出来る距離に、9ヶ所教会があることが恵みの日々でした。



## 教会及び連合のスケジュール(予定)

09月21日(日) 創立29周年記念  
10月05日(日) 10月運営委員会  
10月16日(木) 横田早紀江姉を囲む祈り会  
10月19日(日) 聖餐式  
11月03日(月)～04日(火) 連合2026年度予算総会  
11月09日(日) 召天者合同記念会  
11月11日(火) 野崎姉宅にて家庭集会  
11月30日(日) アドベント第一、ミルトス58号発行・発送  
12月07日(日) 12月運営委員会  
12月21日(日) クリスマス礼拝・祝会  
12月24日(水) クリスマス・イブ礼拝  
12月28日(日) 本年最後の礼拝、ミルトス59号発行・発送

## 祈って下さい

- 1)「バプテスト教会連合54教会の祈祷課題」が、み心にそって実現しますように
- 2)横田めぐみさんはじめ拉致被害者の方々が、早く家族のもとに帰れるように
- 3) ロシア軍に侵攻されているウクライナに、平和が回復するように
- 4) イスラエルとパレスチナのハマスとの間に、停戦・平和が実現できますように
- 5) 三郷教会の大澤美保夫人の、抗がん剤治療が副作用なく用いられ、健康が回復できますように
- 6) 特養老人ホームにいる「八木明子」姉の信仰の成長のために
- 7) 成田のグループ・ホームにいる、安藤真大兄の健康が回復できるリハビリが出来ますように

## 3分間講座

## 「アナニヤとサツピラ夫妻の犯した罪」

エルサレムのキリスト教教徒たちと同様に、アナニヤとサツピラ夫妻は自分の畑を売り、代金のすべてを使徒達のもとに差し出します。当時の教会ではそれぞれの教徒が心をつにして財産を持ち寄り、必要に応じて分配されるお金で生活をしていたようです。しかしアナニヤとサツピラは、共謀して畑を売り払った代金の総額を偽り、その一部を自分たちのために隠したのです(使徒の働き5:1-2)。この偽善を見抜いたペテロは、「アナニヤよ、どうして自分の心をサタンに奪われて聖霊を欺き、畑の売り上げ金をごまかしたのか。売らなければ畑は自分のものであり、自分の思うままになっていたはずだ。あなたの行動は人を欺いたのではなく、神を欺いた行為だ」と強くアナニヤを叱ったのです。するとその言葉を聞きながら彼はペテロの前に倒れて息絶えてしまいます。これを伝え聞いた人はみな恐れを感じたのです(使徒の働き5:5)。しばらくして事の次第を知らないサツピラがやってくると、ペテロが彼女に「あなたたちは、あの畑を申し出た値段通りに売ったのか」と尋ねます。彼女は「そうです。その値段で売りました」と答えました。ペテロは「夫婦で主の御霊を試すとは何事か」と怒りをぶつけると、サツピラもまたペテロの前で倒れ、そのまま息が絶えてしまったのです。この出来事は人々に懲らしめとなり、人々の心の中にはいつも神の聖霊が住んでいる認識を植え付けたのです。

アナニヤとサツピラの罪は、畑の代金のすべてを神に捧げたかのように振る舞ったことです。神への敬意を忘れ、人々から賛辞を受けようとした二人の欺瞞は靈感を持ったペテロによって暴かれ、神から厳しい罰が下されたのです。神は人の心の奥底まで承知していますし、慈悲の心もあります。もしも二人が自分たちが犯した罪を正直に認め、金銭への執着を捨てたなら、その罪は清められ(ヘブル人への手紙13:5)、彼らの信仰心もよりいっそう高められたはずです。(池田)



「サツピラとアナニアの死」  
オービン・ヴェ 作1632年頃

編集後記: インフルエンザが流行ってきています。例年よりも1か月も早いそうです。インフルエンザは普通のカゼとは違い、感染力が強く、重症化すると命取りになる呼吸器の病気です。もし罹ってしまったら、治療第一ですが、他の人に感染させないように十分注意してください。当教会では、基本通りの対策として加湿と換気を。各個人としては、手洗い・消毒・マスクなどで配慮しましょう。(下橋)